

平成23年 8月22日
スポーツ健康課

学校における放射能のサンプリング調査等の実施結果について
標記について、放射能測定を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 目 的

東京電力(株)福島第一原子力発電所から拡散した放射性物質の影響について、本県空間放射線量率や水道水に関する環境モニタリング調査では健康に影響を与えるレベルにはないとされているところですが、他の地域と比べて比較的高い値を示している県南地域について、7月に引き続き、同地域に所在する小中学校のサンプリング調査を実施し、状況を確認したものです。

なお、7月に検体を採取し検査機関に分析を依頼していたグラウンドの土壌の分析結果の報告がありましたので、併せてお知らせします。

2 結 果

(1) プール水（8月実施分）

	学 校 名	採取月日	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137
1	一関市立一関中学校	H23. 8. 9	不検出	不検出	不検出
2	一関市立清田小学校	H23. 8. 9	不検出	不検出	不検出
3	藤沢町立黄海小学校	H23. 8. 9	不検出	不検出	不検出
4	平泉町立平泉小学校	H23. 8. 8	不検出	不検出	不検出
5	奥州市立前沢中学校	H23. 8. 8	不検出	不検出	不検出
6	奥州市立水沢小学校	H23. 8. 8	不検出	不検出	不検出

協力検査機関：(財)環境科学技術研究所(青森県)

不検出：<3.8Bq/kg ～ <6.9Bq/kg

(2) 空間線量率（8月実施分）

	学 校 名	測定月日	グラウンド中央付近			児童生徒玄関付近(外)	
			地 上 高			地 上 高	
			100cm	50cm	5cm	100cm	50cm
1	一関市立一関中学校	H23. 8. 11	0.26	/	0.30	0.13	0.16
2	一関市立清田小学校	H23. 8. 11	/	0.41	0.43	0.21	0.22
3	藤沢町立黄海小学校	H23. 8. 11	/	0.08	0.09	0.10	0.09
4	平泉町立平泉小学校	H23. 8. 12	/	0.26	0.25	0.20	0.21
5	奥州市立前沢中学校	H23. 8. 12	0.28	/	0.31	0.19	0.22
6	奥州市立水沢小学校	H23. 8. 12	/	0.14	0.14	0.11	0.11

	学 校 名	測定月日	教室内（1階） 床上高			
			中央付近		窓 側	
			100cm	50cm	100cm	50cm
1	一関市立一関中学校	H23. 8. 11	0.08	0.07	0.08	0.07
2	一関市立清田小学校	H23. 8. 11	0.08	0.07	0.10	0.08
3	藤沢町立黄海小学校	H23. 8. 11	0.07	0.08	0.07	0.07
4	平泉町立平泉小学校	H23. 8. 12	0.07	0.08	0.09	0.07
5	奥州市立前沢中学校	H23. 8. 12	0.05	0.05	0.06	0.04
6	奥州市立水沢小学校	H23. 8. 12	0.06	0.06	0.07	0.07

備考 時定数：30秒 5回平均値 単位：マイクロシーベルト/時

グラウンド中央付近の各測定結果は、文部科学省が「屋外活動をなるべく制限することが適当」としている $3.8 \mu\text{Sv}/\text{時}$ 、「校地・園地の空間線量率を低減するために必要な土壌処理事業」の補助対象となる $1.0 \mu\text{Sv}/\text{時}$ のいずれも下回っています。

(3) グラウンド土壌の核種分析結果(7月実施分)

(単位: Bq/kg)

	採取場所	採取日	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137
1	一関市立一関中学校	H23. 7. 6	検出限界以下*	272 ± 1	332 ± 2
2	一関市立清田小学校	H23. 7. 6	検出限界以下*	243 ± 1	304 ± 1
3	藤沢町立黄海小学校	H23. 7. 6	検出限界以下*	42.8 ± 0.5	50.8 ± 0.6
4	平泉町立平泉小学校	H23. 7. 7	検出限界以下*	292 ± 1	367 ± 2
5	奥州市立前沢中学校	H23. 7. 7	検出限界以下*	324 ± 1	403 ± 2
6	奥州市立水沢小学校	H23. 7. 7	検出限界以下*	75.2 ± 0.7	90.4 ± 0.9

協力機関：弘前大学被ばく医療総合研究所（青森県） * : $< 1\text{Bq}/\text{kg}$

各学校において放射性セシウムが検出されました。

一般環境の土壌について基準値等は設けられていませんが、調査した6校で検出された値（セシウム134とセシウム137の計）は $93.6 \text{ Bq}/\text{kg} \sim 727 \text{ Bq}/\text{kg}$ で、水田土壌中の放射性セシウムの上限値（原子力災害対策本部発表した稲の作付制限の指標）である $5,000 \text{ Bq}/\text{kg}$ を大幅に下回るものです。

なお、6校の中で最も高い値を示した奥州市立前沢中学校（土壌採取箇所）で同日（7月7日）に測定した地表付近（5cm）の放射線量は $0.31 \mu\text{Sv}$ （マイクロシーベルト）/時でした。

担当：スポーツ健康課
施設・学校健康担当
内線 6 1 9 4 菊池